

# ケアプランデータ連携システム導入 に関する説明会資料



# ケアプランデータ連携システム の導入について

町田市の方針

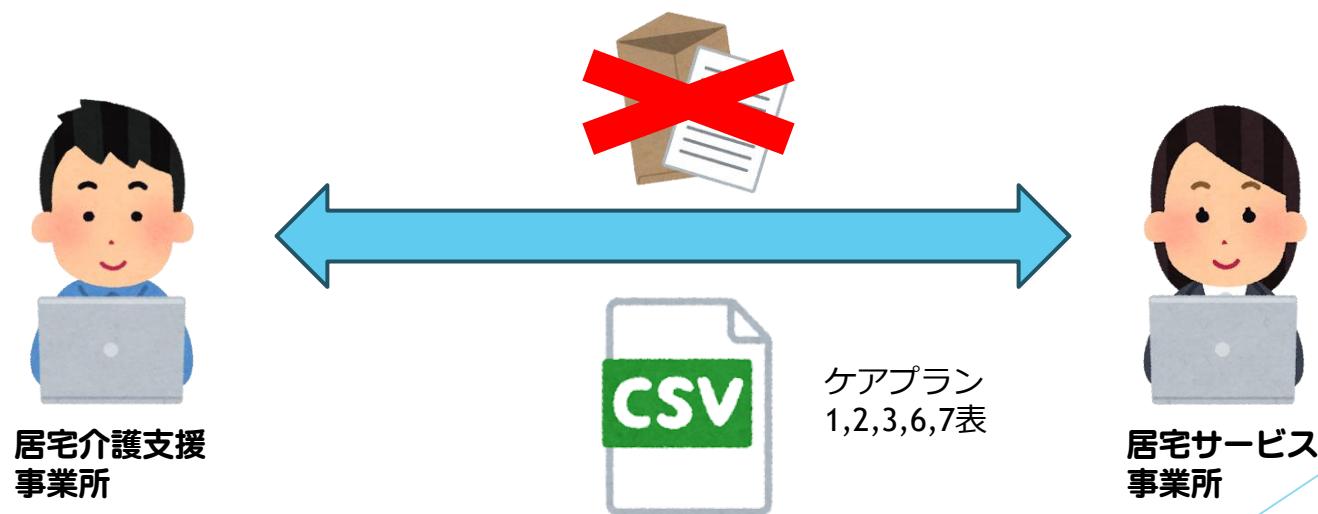


ケアプランデータ連携システム  
イメージキャラクター  
ケアパー

# ケアプランデータ連携システムとは

事業所の事務負担の軽減を目的に構築された。

- ▶ 居宅介護支援事業所 ⇄ 居宅サービス事業所間のケアプランの共有をオンラインで行う。
- ▶ 事業所の業務で使用する介護ソフトに対応し、介護ソフト内のデータを送付することや、送付されたデータを介護ソフトに取り込むことができる。（ドラッグ＆ドロップなど操作は簡単）
- ▶ セキュリティは介護報酬請求と同様のものが組み込まれ、安全である。



# システム利用のメリット

郵送・FAXで行っていたケアプランの共有をシステムで行うと・・・

事務作業が負担と  
思っているあなた  
に朗報！

作業工程の変化	メリット	メリットが及ぼす効果
紙への印刷が不要	経費の削減	経営の安定
郵送料・通信料が不要	経費の削減	経営の安定
送付作業時間の短縮 ※郵便局	事務負担の軽減	利用者のケアマネジメントにかける時間の確保
配達に係る時間の削減 ※郵便局	迅速な情報共有ができる	利用者への対応が迅速にできる
送付された情報を自事業所のシステムに入力する時間の削減	事務負担の軽減	利用者のケアマネジメントにかける時間の確保
送付された情報の誤入力による返戻の削減	事務負担の軽減	利用者のケアマネジメントにかける時間の確保

システムの利用により、業務時間を1/3に抑えられる研究結果があります！！

# システムのデメリット (導入を迷う要因)

- ▶ ライセンス料（年間2万1千円）がかかる。
- ▶ 利用している介護ソフトが対応していない
- ▶ 同じ介護ソフト同士で既に他事業所と連携できている  
※介護ソフトが違うとできない
- ▶ 周辺の事業所が使っていない

アンケートで皆様  
の声をききました



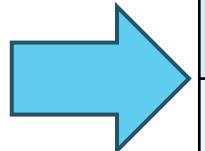
# 導入を迷う要因をこれで解決

ライセンス料（年間2万1千円）がかかる。

利用している介護ソフトが対応していない

同じ介護ソフト同士で既に連携している  
※介護ソフトが違うとできない

周辺の事業所が使っていない



経費の削減量、時間（≒人件費）の削減量と比較してみたどうか。  
※シミュレーターあり

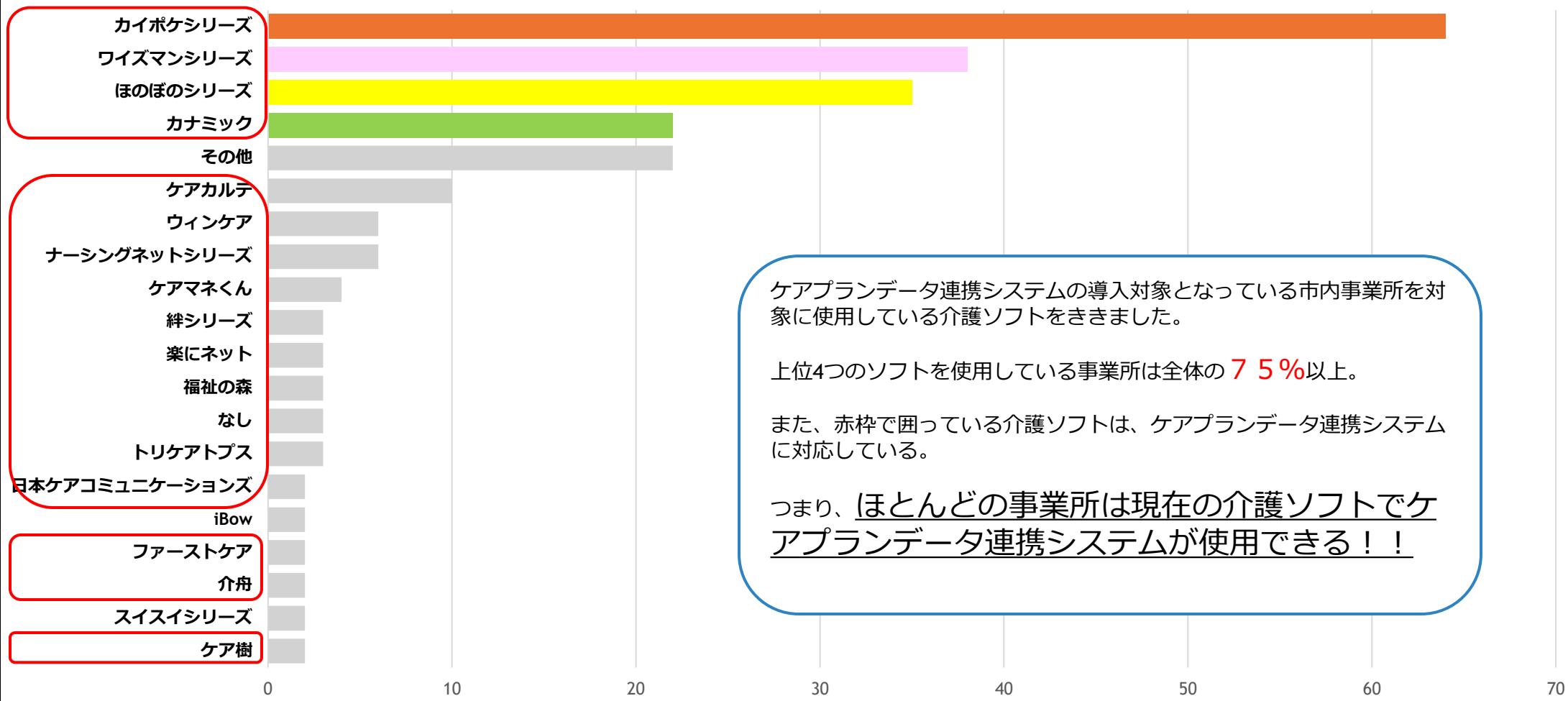
実はほとんどの介護ソフトが対応しています（次ページ）

同じ介護ソフトで連携している件数は全体の何割？ 100%連携すればもっと楽になる！

→ここを市がフォロー（後述）



## 使用している介護ソフト



# 連携している介護ソフト

Rely (リライ) 株式会社アル・シー・エス V2 V4	いきいき健康、いきいき活動アプリ 株式会社健康相談所 V2	まけあネットワークシステム、まけあ健康 株式会社まけっとまけあネットワーク V2	介護エイト アトラス介護サービス株式会社 V2 V4	CareOnline 株式会社クラムソフト V2	ケア田 株式会社グッドドリー V2 V4	「楽園」介護看護システム 株式会社楽園センター V2	CAREKARTE 株式会社ケアコネクトジャパン V2 V4	介護ファミリー 株式会社日本コンピュータコンサルタント V2 V4	介護ソフト ケアマザー 株式会社エラス V2 V4	高齢者用トータル管理システム ケアレンジ 株式会社ハイテックシステムズ V2 V4	楽にネット 株式会社ハローランド V2 V4
施設看護ケア支援システム (Smile Compass) アトラス介護サービス株式会社 V2	訪問看護用電子カルテ (Flow)アイボルト 株式会社アイボルト V2 V4	すこやかサン MAP for NURSING CARE 株式会社GMSシステムズ V2 V4	ケアコラボ ケアコラボ株式会社 V2 V4	スグレポート 国際マイコンサービス株式会社 V2	ASP介護保険システム 株式会社エスオーエー V2	FlowersNEXT 株式会社コンクト V2 V4	社会福祉法人システム 株式会社バンフィッシュシステム V2 V4	ファーストケア 株式会社ビーステム V2	福祉の森 株式会社立正システムズ V2	QuickCheck2 株式会社ファティマ V2 V4	
まもる君クラウド 株式会社インタートラスト V2 V4	介五郎 (介護保険版) 株式会社インフォ・テック V2 V4	介Care看護介護システム 株式会社内田和洋 エーケービジネス株式会社 V2 V4	トータル社会福祉システム「希望」PLUS II V2 V4	エスクラウド サンケン株式会社 V2	WEBクラフト介護 システムクラフト有限会社 V2	リンクア 2.1 防齟 システムクラフト・ワン V2	高々ケアクラウド 有限会社システムプラネット V2 V4	ゆう・ケア 株式会社フォーエバー V2 V4	HOPELifeMark-WINCARE 株式会社Japan株式会社 V2	HOPELifeMark-WINCARECloud 株式会社Japan株式会社 V2	スマイルワン 株式会社プラスワン V2
福寿 エコインテック株式会社 V2	SMARTれん太 株式会社エースシステム V4	カイボゲ 株式会社エス・エム・エス V2 V4	施設看護ケアシステム Attend SOTシステムコミュニティ株式会社 V2 V4	介護看護トータルシステム「エース」 高木システムリブライ株式会社 V2	ケアタイム 住環境エンジニアリング株式会社 V2	SCOP receipt 株式会社蓄音器販売会社 V2	SuisuiRemon セントワックス株式会社 V2 V4	ナーシングキャットプラスワン プラスワンソリューションズ株式会社 V2 V4	SimWork介護看護システム プロテック株式会社 V2 V4	自社開発ソフト 株式会社ブロントップ V4	ラクウェア ブロントップ・デザイン株式会社 V4
ケアストーリー 株式会社エムエスシー V2	施設用看護支援トータルシステム (SWATplus) NCS & ARI株式会社 V2 V4	ほのぼのNEXT エヌ・テーソフトウェア株式会社 V2 V4	施設看護センターシステム エヌ・テーソフトウェア株式会社 V4	介護システム「福」 株式会社ソフテア・サービス V2 V4	介護保険総合システム グンソフトエフ株式会社 V2 V4	施設看護ケア支援システム グンソフトエフ株式会社 V2 V4	CareWORKS21 株式会社テクノプロモード V2 V4	施設看護センター運営支援システム 株式会社フレインサービス V2 V4	ヘルパーアシスト 有限会社エリックコミュニケーションズ V2	介護トータルシステム「福」 株式会社日本看護師会センター V2 V4	福祉物語 有限会社トヨフ株式会社 V2 V4
介護記録システムFTCare-I 株式会社エフツ V4	ケアマネッ子 株式会社エフン V2	OMIS 株式会社OMIS V2	トリケアトブス 株式会社トリケアトブス V2 V4	福祉見聞録 株式会社審評システム V2	ナビケアPlus 株式会社ナビテック V2 V4	社会福祉情報システム千葉 西日本イフスマジック株式会社 V2	楽すけ ニップクケアサービス株式会社 V2	ナレッジ・ケアマネージャ 株式会社エフツ V2 V4	高齢介護看護システム I - H E D I C P l a s t 株式会社レシナ V2	Care-wing 介護の福 株式会社ドック V2 V4	ワイスマンSPシステム 株式会社ワイスマン V2 V4
介護ソフト・施設看護ケア (医療介護情報システム) のカナニ ッククラウドサービス 株式会社カナニックネットワーク V2 V4	元がおシリーズ 株式会社カーネル V4	ケアキャロツツ 株式会社カロツツシステム V2 V4	介護システム 株式会社カーネル V2 V4	給付帳クラウド 日本医療WORCA技術開発株式会社 V2	ケアマネくん 株式会社日本ケアコムニケーションズ V2 V4	Canbill Neo 株式会社日本ケアコムニケーションズ V2 V4	ほのぼのmini2 株式会社日本ケアコムニケーションズ V2 V4	介護記録ショコラ 株式会社ミム V2			

# 市の方針

## 事業所の負担軽減および生産性向上に寄与するため、導入を支援していく

- ▶ 国の目標・・・市内事業所の3割以上がシステムを利用している自治体の割合

2026年度：50% ←ここに入ることを目指す

2029年度：90%

- ▶ 市の目標・・・市内事業所の利用割合（国の2026年度目標に入る）

2025年度：10%（58ヶ所）うちモデル地区鶴川内30%（28事業所）

2026年度：30%（175ヶ所）うちモデル地区町田内30%（47事業所）

2027年度：60%（350ヶ所）うちモデル地区忠生・堺30%（56事業所）南30%（43事業所）

2028年度 90%（525ヶ所）

- ▶ モデル地区・・・自然派生するといわれている30%に到達するまで支援

2025年度：鶴川

2026年度：町田

2027年度：忠生・堺、南

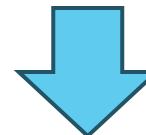
# 市の取り組み

市の他にも、国保中央会によるライセンス無料のキャンペーンもあります。終了後も無料となるよう、厚労省は財務当局と議論する姿勢を示しています（シルバー新報から）。

- ▶ ケアプランデータ連携システムに特化したホームページの公開（実施済）
- ▶ 説明会（研修会）を実施  
オンラインと会場のハイブリッドで実施。会場はモデル地区内を想定。  
他地区の事業所も参加可能とする予定。
- ▶ 現在利用している事業所へのインタビューなど、リアルな声を集めて公開
- ▶ その他、できることを模索中

# はずせない、介護情報基盤について 一ケアプランデータ連携システムとの関係一

- ▶ 2026年（令和8年）度から介護情報基盤の運用がスタートします。準備が整った自治体から順次運用し、2028年4月には9割の自治体で運用することとなる。  
町田市は2027年10月からの開始を目指し調整中。
- ▶ 介護情報基盤とは、利用者の介護に関するデータを「基盤」にて一元的に管理し、利用者や家族、介護サービス事業者、医療機関、行政などの関係者は「基盤」にアクセスすることで、いつも同じ情報を共有することができるもの。
- ▶ 共有する情報は、被保険者証の情報や要介護認定情報など様々あるが、その一つにケアプランが位置付けられている。
- ▶ 基盤にケアプランを登録する際は、ケアプランデータ連携システムを経由する仕組みとなっている。また、国は介護情報基盤とケアプランデータ連携システムを統合する方向で動いている。



今後、利用者や医療機関から「介護情報基盤上でケアプランを見れるようにして」と要望されることが想定されます。つまり・・・いずれ乗らないといけない「波」である！

# 取り組むなら今がチャンス

慣れるまでは苦労するが、なれたらメリットがたくさん待っています  
業務多忙な日々に、メスをいれてみませんか

